

## 乳幼児健診について

【ご意見】（令和5年8月21日受付）

健診時、栄養士のお話を聞く際、子供と一緒に聞くと集中できない。

役に立てたいと思っても、子供が泣けばあやすし、遊びだせばそちらが気になり集中できない。

栄養士の方がせっかく話ししてくれても、こちらは話半分で理解できていないのが現状。

メモも取れないし、「何か質問ありますか？」と言われても、説明に集中できないので質問も出来ない。重たい冊子を持って行っても、メモも残せず、荷物になるだけ。

相談したいことがあっても、子供がいると話しづらいこともある。特に、3歳になれば、こちらの話している内容も理解しているし、走り回ってじっとしていないし、待つことも出来ないし。

身体測定や医師の診察、保健師が子供に行うテストなどが終わったら託児で預かっていただけたら、もっと話しに集中できると思う。

子供も楽しく待っていただける方法を行っていただきたい。さらにお願いですと、健診の時間を午前中に変更していただきたい。昼過ぎのちょうどお昼寝の時間帯で眠いし、その後のお昼寝のタイミングも困る。

健診を行う医師の診療業務の都合というのも理解するが、相談出来るせっかくの機会が活かさないのが事実。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

## 【回答】

乳幼児健康診査での栄養指導において、集中してお話を聞いていただける状況に配慮できず申し訳ありませんでした。

今後、お子様と離れて栄養士の話を聞きたい方は、スタッフへお気軽に声をかけていただけるよう対応させていただきます。

また、乳幼児健康診査時にご相談できなかった事がありましたら、育児相談を月 2 回午前中実施しておりますのでご利用ください。

なお、乳幼児健康診査の実施時間につきましては、医師会の先生方や近隣の小児科の先生にご協力いただき診察を行っているため、診察のある健康診査につきましては、午前中の開催が難しい状況です。

お子様にとってはお昼寝の時間となり申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

担当 健康推進課